

兵庫県保険医協会北阪神支部

―新春政策研究会のご案内―

医師の働き方改革

講 師 保険医協会理事長 西山 裕康先生

日 時 2019 年 1 月 19 日 (土) 16:00 ～ 18:00

会 場 いたみホール 5 階会議室 2
(伊丹市宮ノ前 1 丁目 1 － 3 TEL : 072-778-8788)

※終了後、懇親会 (於・だんらん処 ― 参加費 : 4000 円 + お飲み物代)

「医師の働き方改革」は 5 年間猶予されました。医師の「働き方」は特殊ですが、医師は特殊な人間ではありません。

医師は、その使命感・責任感、主治医制、応召義務などにより、長時間労働になりがちです。また労働と研鑽の峻別、当直の解釈、杜撰な時間管理等のため、労働時間そのものが明確ではありません。一方で労基局の指導通りに対応すれば、提供体制の縮小、時間外手当の支給など、地域医療、病院経営に大きな影響を及ぼします。

現在、医師の健康、健全な病院経営、安心の地域医療を構築すべく議論が続いていますが、果たして医師数と診療報酬の増加無しに、その解答が導き出せるのでしょうか。

今回は医師の労働実態と問題点、改善状況、議論の現況について解説し、その解決方法について皆さんと一緒に考えたいと思います。ぜひご参加ください。【西山 記】



お問い合わせは、北阪神支部担当事務局
(TEL 078-393-1805) 有本・小川まで

(切り取らずに返信ください) 【 F A X 返信 】 078-393-1802

■北阪神支部・新春政策研究会に () 名出席します

懇親会に () 名出席します

地区

お名前

医療機関名

※人数をお知らせください

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2018 年 12 月 15 日号 No.289

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

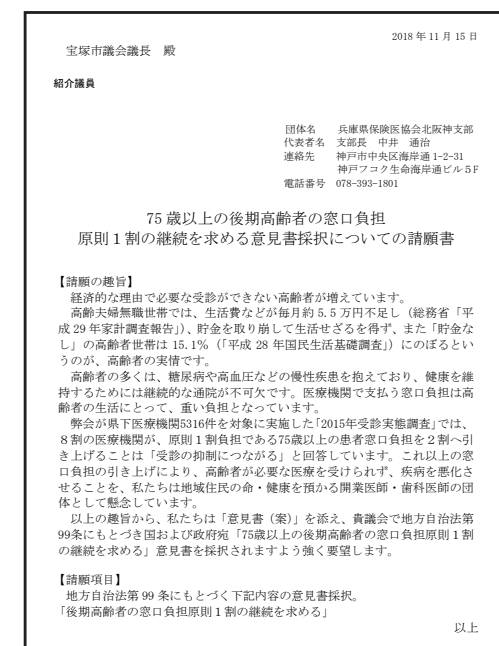
☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/

後期高齢者窓口負担 1 割継続を求める意見書採択についての請願書

受診抑制のおそれ 各議会でうったえ

宝塚では継続審議



中井支部長から後期高齢者の窓口負担 1 割負担継続を求める意見書の採択を要請した

北阪神支部は、北阪神地域 3 市 1 町 (伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町) の各議会に、「後期高齢者の窓口負担原則 1 割の継続を求める意見書採択についての請願書」を提出した。

今年 6 月 15 日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2018」(いわゆる骨太の方針) には「後期高齢者の窓口負担の在り方について検討」との文言が盛り込まれた。さらに、財務省の財政制度等審議会財政制度分科会では、「75 歳以上の後期高齢者の自己負担について 2 割負担とすべき」と提案されたことをうけて、請願書では各議会で原則 1 割の継続を求める意見書を採択し、国に継続を要望するよう求めている。

宝塚市議会は 11 月 28 日の文教生活常任委員会で請願を審議した。委員会では口頭陳述の場が設けられ、中井支部長から意見書の採択を求めた (事務局が代読)。

(次のページに続く)

(前のページから)

文教生活常任委員会は、たからづか真政会 2 氏 (うち 1 氏が議長)、安全で誇れる宝塚をつくる会 2 氏、ともに生きる市民の会 1 氏、共産党 1 氏、公明党 1 氏で構成される。請願について各委員からは「医療費は毎年増えており、抑制が必要ではないか」「世代間の公平性に配慮すべき」などの意見が出され、請願の紹介議員である共産党のとなき正勝氏からは「国民が健康になることで医療費が抑えられるなら良いが、受診を抑制することでの医療費抑制は問題だ」などのやりとりがあった。

たからづか真政会の浅谷亜紀氏より継続審議が提案され、ともに生きる市民の会、共産党以外の賛成多数により 3 月議会での継続審議を決定した。

その他議会の審議予定は以下の通り

- 川西市議会 12 月 10 日 厚生文教常任委員会
- 伊丹市議会 12 月 14 日 文教福祉常任委員会
- 猪名川町議会 12 月 12 日 生活建設常任委員会

口頭陳述での訴え (要旨)

現在、内閣や財務省の財政制度等審議会財政制度分科会では、後期高齢者の窓口負担の 2 割への引き上げが検討されています。

しかし、この間の国民生活に目を向けると、実収入はゆるやかに伸びているものの、それ以上に所得税や住民税の負担増などにより、可処分所得は伸びていません。とりわけ高齢世帯は、生活保護を受給する世帯が増え続けており、きわめて厳しい家計状況におかれています。たとえば、高齢夫婦無職世帯では、生活費などが毎月約 5.5 万円不足し、貯金を取り崩して生活せざるを得ず、また「貯金なし」の高齢者世帯は 15.1 % にのぼるというのが実情です。

また、高齢者の多くは、糖尿病や高血圧などの慢性疾患を抱えており、健康を維持するためには継続的な通院が不可欠です。医療機関で支払う窓口負担は高齢者の生活にとって、現在でも重い負担となっています。私たちが県下医療機関 5316 件を対象に実施した「2015 年受診実態調査」では、75 歳以上の患者窓口負担を 2 割へ引き上げることに、8 割の医療機関が「受診の抑制につながる」と回答しています。

これ以上の窓口負担の引き上げにより、高齢者が必要な医療を受けられず、疾病を悪化させることを、私たちは地域住民の命・健康を預かる開業医師・歯科医師の団体として深く憂慮しています。

75 歳以上の後期高齢者の窓口負担原則 1 割継続を求める意見書採択を求める請願を採択していただけますようお願いいたします。

兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>

* 生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください！

中井支部長 ラジオ関西で参加呼びかけ

初笑いは保険医寄席で！

協会文化部は来年 1 月 12 日に「初笑い 新春保険医寄席」を開催する。文化部員の中井通治支部長は加藤隆久文化部長とともにラジオ関西番組「寺谷一紀の い・しょく・じゅう」内のコーナー「医療知ろう！」の収録に臨んだ。上方落語の魅力や、それを会員や市民に知ってもらいたいという企画意図を紹介し、リスナーに参加を呼びかけた。



司会の寺谷氏 (左) と落語の魅力について語る中井支部長 (中央) と加藤文化部長 (右)

また、7 月にオープンした「神戸・新開地 喜楽館」を訪れ、落語や漫才を堪能した文化部の企画も紹介し、和やかな番組収録となった。番組の放送は 1 月 3 日 (木) 19 時～ (コーナーは 19 時 40 分頃)。ぜひお聴き下さい。

「初笑い 新春保険医寄席」 1 月 12 日 (土) 17 時～ 参加費 500 円 (着物の方は無料)
出演 桂花團治、笑福亭純瓶 お問い合わせは TEL078-393-1817 まで



幹事会だより

第 376 回 12 月 6 日 (木) 伊丹市産業情報センター 参加 4 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

12/1 現在 医科 345 人 (75%)、歯科 193 人 (59%)

◆情勢と医療運動対策

後期高齢者の窓口負担原則 1 割を求める請願運動や「ストップ患者負担増」署名の取り組みについて議論した。

◆当面の支部活動

新春政策研究会

日 時 1 月 19 日 (土) 16 時～ 18 時

テーマ 医師の働き方改革

会 場 いたみホール会議室 2

講 師 西山裕康先生 (協会理事長)

参加費 無料

◆次回幹事会

1 月 19 日 (土) 14 時 30 分～ いたみホール会議室 2

お問い合わせは TEL 078-393-1805 有本・小川まで